

訪問ガイド 2026

バレンシア海洋館 (l'Oceanogràfic Valencia)

バレンシア・から 43.05€

<https://oceanografic.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金

歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

カンデラの夢が現実になる

GOOGLE **4.6** ★★★★★ 107 849 レビュー

TIQETS **4.7** ★★★★★ 2 688 レビュー

バレンシアの芸術と科学の都市（Ciudad de las Artes y las Ciencias）の中心に位置するオセアノグラフィックは、スペイン系メキシコ人建築家フェリックス・カンデラの遺作として知られています。1997年に逝去したカンデラが描いたビジョンは、鉄筋コンクリートの巨大な睡蓮を連想させる構造で実現され、建築バイオミメティクスと現代博物館の機能を巧みに融合させています。この建物は単なる水族館ではなく、海洋生態系への敬意を表した芸術作品であり、訪れる者の想像力を刺激する空間となっています。

2003年2月14日に開館以来、オセアノグラフィックはヨーロッパ最大の水生複合施設の一つとして確固たる地位を築きました。**4,200**万リットルの水を収容するこの巨大な容量により、約500種の魚類と多様な海洋生息環境を受け入れることが可能になりました。当初はParques Reunidos社によって運営されていましたが、現在はAvanquaコンソーシアムが管理しており、絶えず進化し続ける科学的展示を提供しています。

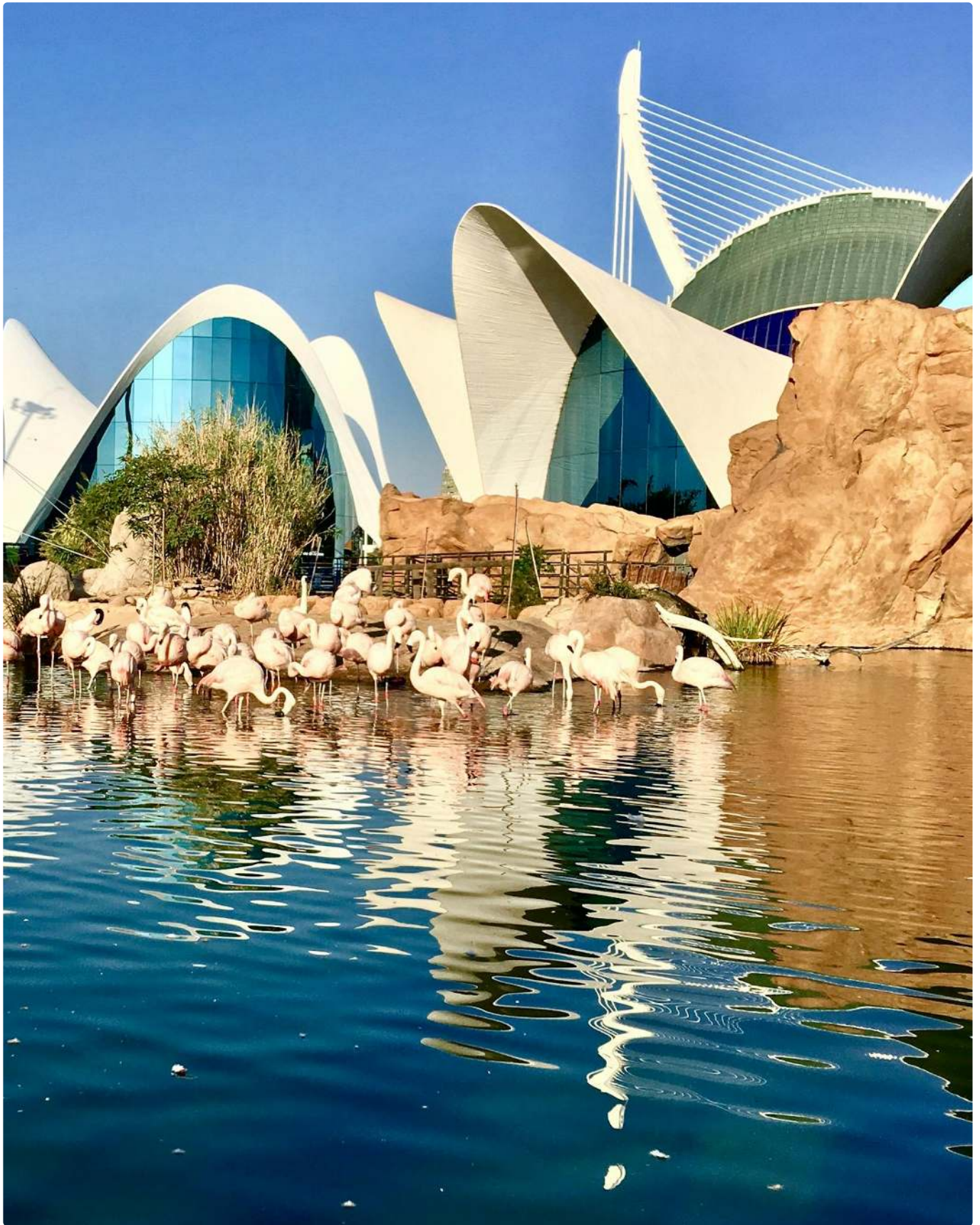
ヨーロッパ唯一のペルーガ飼育施設であるという独占性は、カイロとユルカという名のペアとの出会いを特別なものにしています。これらの白い鯨類は、ロシアのオホーツク海で捕獲された後、アルゼンチンのマデルプラタ水族館を経てここにやって来ました。彼らの存在は、北極の象徴的な種をヨーロッパ大陸で観察できる唯一の機会を提供し、多くの訪問者にとって忘れられない瞬間を生み出しています。

積極的な保全活動を通じて、オセアノグラフィックは欧州動物園協会の一員として絶滅危惧種の保護に貢献しています。特にノコギリエイなどの繁殖簿（スタッドブック）を調整することで、危機に瀕した種の存続を支えています。Fundación Oceanogràficを通じた現地での保存活動も進められており、教育と研究の両面から海洋生物多様性の維持に取り組んでいます。

体験

入口を通過すると、巨大なガラス張りのドームが光を取り込み、水の世界への扉が開きます。睡蓮のような屋根が頭上に広がり、自然光が水槽に反射して幻想的な雰囲気を醸し出します。空気の湿度と水の音を感じながら、訪れる者はすぐに陸上から水中へと意識が移行していきます。建築の曲線美と水の透明さが調和し、静寂の中で海洋の神秘に触れる準備が整います。

メイントンネルを下りると、サメの影が頭上を泳ぎ通り、圧巻の視覚体験が始まります。柔らかな照明の中で、魚群が流れるように動き、訪れる者はまるで海底にいるかのような錯覚に陥ります。子供たちの驚きの声や大人たちの静かな感嘆が交錯し、誰もが共通の感動を分かち合う空間となります。ここでは時間さえも止まったような、純粋な驚きと畏敬の念が漂っています。



訪問の準備

実用的な情報

住所

芸術と科学の都市・EMTバス: 60, 61, 70, 71, 72系統「Ciudad de las Artes」停留所。夏場は車でのアクセスをお避けください。

営業時間

季節やバレンシアの学校休暇により変動します。予約前に公式サイトで正確な時間帯をご確認ください。

料金

43.05€より。子供/高齢者割引あり。QRコード付き記名チケット必須。

所要時間

すべてのバイオームを探索し、ショーを見るには最低3〜4時間を計画してください。隣接する博物館と組み合わせる場合はさらに時間を確保してください。

写真撮影

水槽内ではフラッシュ・三脚なしで撮影可能です。トンネル下では夜景モードを使用して、静かにサメを撮影しましょう。

対象客層

家族向け（ベビーカー可）および自然愛好家に最適。車椅子対応ですが、建物間の屋外エリアには段差がある場合があります。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



地下鉄

バレンシア空港 (35 min) ・バレンシア海洋館 (6 min)



バス

: Ciutat Arts i Ciències - Justícia — 6 min à pied

バレンシア空港 (56 min) ・Oceanogràfic (8 min)



レンタカー

バレンシア空港 (43 min) ・Oceanogràfic (3 min)



自転車

バレンシア空港 (58 min) ・Oceanogràfic (2 min)

LOCALISATION

Où se trouve バレンシア海洋館 (l'Oceanogràfic Valencia) ?



📍 Carrer d'Eduardo Primo Yúfera — 46013 バレンシア

🌐 39°27.141' N, 0°20.878' O



組織

効率的な見学ルートと構成

レベル1：メイントンネルと地中海ゾーン

入口からすぐのメイントンネルでは、大型のサメやエイが頭上を泳ぐ姿を観察できます。続いて地中海の生態系を再現した水槽群があり、地域特有の魚種や植物を紹介しています。ここでのんびりと歩きながら、バレンシア近海の生物多様性について学べます。

レベル2：北極バイオーム（上部）

アイグル型の建物の上層階からは、ベルーガ、セイウチ、フクロウの水槽を上から見下ろせます。これらの哺乳類の行動パターンや社会構造を理解するのに最適な視点です。窓際には、動物たちが水面近くで休息している姿を間近で見ることができます。

レベル3：北極バイオーム（下部）とペンギン

階段を下りて下部へ移動すると、同じ水槽を水底から眺めることができます。ベルーガの流れるような動きやセイウチの力強い泳ぎ方が、全く異なる視点で楽しめます。隣接するペンギナリウムでは、南極由来のアデリーペンギンの活発な様子を観察できます。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

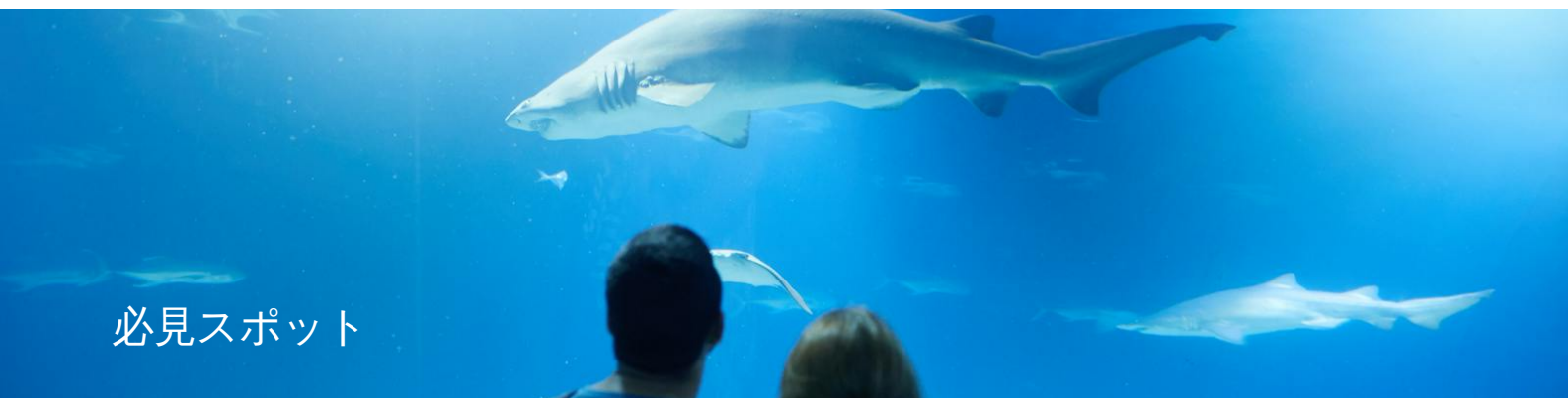
主要建物には車椅子対応アクセスがありますが、パビリオン間の屋外段差には注意が必要です。

ファミリー向け

家族連れに最適：ベビーカー可、バリアフリートイレ完備、屋外プレイエリアあり。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

絶対に逃せない8つの見どころ

01 北極バイオーム

ペルーガのカイロとユルカ

ヨーロッパ唯一のペルーガ飼育施設として、このペアとの出会いは特別です。彼らの知能の高さと社交的な性質は、観察者を魅了します。上部と下部の両方の視点から見ることで、彼らの行動をより深く理解できます。

💡 2016年に生まれた雄の子供は、家族愛を示す素晴らしい例となりました。親のケアと社会化プロセスが見られる貴重な瞬間です。

02 中央通路

メインサメトンネル

ヨーロッパ最長の海底トンネルの一つで、サメの群れが頭上を泳ぐ圧巻のシーン unfolds。柔らかな照明の中で、これらの古代の捕食者が優雅に動く姿は、恐怖よりも畏敬の念を抱かせます。夜景モードで撮影すると、反射を防いで美しい写真が撮れます。

💡 トンネルの長さは、没入感を最大化するために計算されており、訪れる者は完全に水中世界に包まれます。

03 北極バイオーム

セイウチの展示

ヨーロッパでわずか3箇所をのみのセイウチ展示の一つです。これらの大型哺乳類は、その独特の外見と力強い泳ぎ方で注目を集めます。ペルーガやハクジラと共に北極空間を共有し、多様な生態系の一部として機能しています。

💡 セイウチは、社会的絆を重視する種であり、グループ内での相互作用を観察するのは教育的です。

04 デルフィナリウム

イルカショー（デルフィナリウム）

ヨーロッパ最大のボトルノーズドルフィン専用プールで、2,600万リットルの水を蓄えています。水深11メートルのプールで行われるダイビングパフォーマンスは、動物たちの敏捷性と訓練の成果を示しています。毎日5回開催されるショーは、教育的要素も含んでいます。

💡 良い座席を確保するためには、**30分前**の到着が強く推奨されます。遅刻すると立ち見になる可能性があります。

05 フェリックス・カンデラ 全体構造物

フェニックス・カンデラの建築

睡蓮型の鉄筋コンクリート構造は、建築史における重要な作品です。有機的な形状と機能的なデザインが融合し、訪れる者に美的興奮をもたらします。建物の曲線は、水の流動を模倣しており、自然との調和を表現しています。

💡 カンデラは1997年に逝去しましたが、彼のビジョンは完全な形で実現されました。

06 北極バイオーム隣接

ペンギナリウム

南極由来のアデリーペンギンの活発な様子を観察できます。準絶滅危惧種であるため、その保全状態についても学ぶことができます。彼らの社交的な性質と泳ぎの技術は、子供たちから大人まで幅広い年齢層に人気があります。

💡 ペンギンは、協力関係を築くことで厳しい環境でも生存できていることを示しています。

07 中央エリア

Restaurante Submarino

魚を目の前にして食事するというユニークな体験を提供します。ガラスに近いテーブルからは、カメや熱帯魚への素晴らしい眺めが得られます。一人あたり約25ユーロで、パノラマ水中ビュー付きの食事を楽しめます。事前に予約することが必須です。

💡 レストランは、教育的要素も含んでおり、食事中にも海洋生物について学べます。

08 最終エリア

爬虫類ゾーン

見学ルートの終点となる爬虫類ゾーンでは、セーシェルゾウガメやアフリカガンガメなどを見ることができます。これらの長寿な生物は、生態系の重要性を考えるきっかけになります。静かな雰囲気の中で、ゆっくりと観察することができます。

💡 ゾウガメは、数百年生きる可能性があり、時間の流れを感じさせます。

アドバイス

完璧な訪問のための秘訣

TIMING

すべてのバイオームを探索し、ショーを見るには最低3〜4時間を計画してください。隣接する博物館と組み合わせる場合はさらに時間を確保してください。

PARCOURS

メイントンネルから始め、次にバイオーム（北極、地中海）を探索し、最後に爬虫類を終了点とします。これにより、狭い廊下での往復を防げます。

PAUSE

Restaurante Submarinoでの昼食は事前に予約してください。ガラスに近いテーブルは、カメや熱帯魚への素晴らしい眺めを提供します。

AUDIOGUIDE

フランス語、英語、スペイン語の音声サポートがしばしば用意されています。購入時または現地で利用可否を確認してください。展示されている生態系の理解が大幅に深まります。

BILLET

繁忙期には特にオンライン予約を強くお勧めします。入場を保証し、窓口での長い待ち行列を避けることができます。QRコード付き記名チケット必須です。

PHOTO

トンネル下の撮影には、夜景モードまたは手振れ補正を使用してください。フラッシュは避け、サメの素早い動きには高速シャッター速度が必要です。

ENFANTS

夏の間、オセアノグラフィックは涼しい避難所となります。特に温度が低く保たれている北極ゾーンでは、子供用に薄手のセーターを用意してください。

CONFORT

EMTバス60〜99系統の利用をお勧めします。夏は複合施設周辺の渋滞が頻繁にあるため、車は避けましょう。バスは経済的でエコフレンドリーです。



よくある質問

よくある質問

オンラインで予約するのと現地での購入、どちらがおすすめですか？

繁忙期には特にオンライン予約を強くお勧めします。入場を保証し、窓口での長い待ち行列を避けることができます。さらに、料金が少し安くなったり、より柔軟なオプションが提供されたりすることもあります。

オセアノグラフィックと科学博物館を組み合わせることはできますか？

はい、オセアノグラフィック、科学博物館、ヘミスフェリック向けの複合チケットが存在します。個別購入と比較して大幅に節約できます。購入時に各オファーの詳細内容をよく確認してください。

チケットは返金可能ですか？

購入したチケットの種類によります。割引価格のため返金不可のオファーもありますが、柔軟なキャンセルが可能なものもあります。支払い確定前に必ず特定の利用規約をご確認ください。

現在プロモーションはありますか？

季節限定プロモーションや複合オファーが定期的に登場します。一時的な割引情報は公式サイトまたはニュースレターをチェックしてください。バレンシア在住者は、身分証明書の提示により特別料金の対象となります。

オセアノグラフィックの見学にはどのくらい時間がかかりますか？

異なるバイオームとショーを含む完全な見学には、約3〜4時間を見込んでください。隣接する科学博物館も見たい場合は、一日丸々確保することをお勧めします。細部を楽しむために時間をかけてください。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

ヨーロッパ唯一のペルーガ

オセアノグラフィックは、北極の象徴的な種であるペルーガを飼育しているヨーロッパ唯一の施設です。この独占性により、カイロとユルカとの出会いは、ヨーロッパ大陸の他のどこでも再現できない特別な瞬間となります。彼らの知能と社交性は、観察者を魅了します。

4,200万リットルの水

4,200万リットルの収容能力を誇り、ヨーロッパ最大級の水生複合施設の一つです。この巨大な容量により、約500種の魚類と多様な海洋生態環境を受け入れることができます。水の循環システムは、環境負荷を最小限に抑えるよう設計されています。

フェリックス・カンデラの建築

この建物は、1997年に逝去したスペイン系メキシコ人建築家フェリックス・カンデラの遺作です。鉄筋コンクリート構造は巨大な睡蓮を連想させ、建築バイオミメティクスと現代博物館の機能を巧みに融合しています。彼のビジョンは、完全な形で実現されました。

積極的な保全活動

当水族館は、欧州プログラムおよび専用財団を通じて絶滅危惧種の保全に積極的に取り組んでいます。欧州動物園協会の一員として、絶滅の危機に瀕したノコギリエイなどの繁殖簿（スタッドブック）を調整しています。教育と研究の両面から貢献しています。

博物館周辺

芸術と科学の都市は、バレンシアの文化的ハブとして機能し、複数の魅力的なスポットを邻近に抱えています。プリンス・フェリペ科学博物館では、サント・カラトラバ設計のインタラクティブ展示を通じて科学的発見を楽しめます。真向かいにある**Hemisfèric**は、宇宙に関するIMAX映画とプラネタリウムショーを提供し、一日中楽しめるプログラムを揃えています。食事後には、川跡を改造したトゥリア庭園を散策し、緑豊かな散歩を楽しむのもおすすめです。これらの施設を組み合わせることで、バレンシアの科学と文化を深く体験できます。



オセアノグラフィックは単なる観光地ではありません。それは海洋への旅であり、地球の生命力に対する深い理解をもたらす経験です。ペルーガの優しい眼差しやサメの優雅な泳ぎ方を通じて、私たちは自分自身と自然のつながりを再認識します。バレンシアのこの宝は、訪れる者に記憶に残る感動を与え、持続可能な未来への希望を植え付けます。ぜひ一度、この魔法の世界に足を踏み入れてください。